

フェリアのこと。



皆さん、こんにちは。

サンペドロデルパラナ市派遣の千葉桃子です。

FOPROLEI の活動と並行して行なってきたフェリア（朝市）ですが、気付けば初めての開催から1年が経過しました。

1年前と比較すると、

- ① 定期開催の実現（月1回⇒毎週開催）
- ② 売り上げの記録の定着（ほとんどの農家で定着）
- ③ 商品の質の向上（衛生的な販売、商品の見せ方の改善など）
- ④ 会議の開催（価格の統一化など）

文字にするとたった4行ですが、私自身も農家自身も実感できるくらいの進歩だと思います。

元はといえば、酪農家の販路拡大、顧客の確保及びメルカド（市場のための施設）の有効活用を目的に開始したフェリア。

始めの頃は参加する農家も少なく、また雨が降れば数日は街まで出て来られないので、延期や中止の連続・・・

ひどい時は2人しか農家が来なかったり、並べる程の商品がなかったり、とてもフェリアと呼べるものではありませんでした。



（写真：始めたばかりのフェリア。商品は少なく、壁にはまだ落書きも。）

立地が悪く、認知度も低かったためラジオでの宣伝は勿論、チラシの配布、時には一軒一軒に声を掛けながら歩き回ったことも・・・

新たな加工品の販売にチャレンジして失敗したこともありました。

思うように行かない事ばかりで、嫌味を言われる場面も沢山ありました。

しかし1年がかりで少しずつ参加者、協力者を増やし、やっと週1回の定期開催ができるまでになりました。



(写真：常連客も増え、賑やかなフェア) 最近では農家同士で積極的にアイデアを出し合い、商品の価格設定や陳列、包装なども改善されてきました。

まだ試作の段階ですが、新たな試みとして牛乳石鹸の販売も酪農家と共に計画中です。

今後は帰国後のことも視野に入れつつ、自立した運営が継続できるよう、サポートしていきたいと思います。